

会 議 録

会 議 の 名 称	令和7年度第1回介護保険運営協議会
開 催 方 法	対面会議
開 催 日 時	令和7年7月10日（木）午後1時30分～午後2時50分
開 催 場 所	庁舎棟5階会議室
公開又は非公開の別	公開
出 席 者 氏 名	〈委員16名〉※敬称略 藤田新、片桐美智子、進藤美里、三宅威、近藤孝志、 山本正行、大西亜子、星川隆志、村上義弘、岡田正一、高橋幹、 武村公太、井上定恵、藤田真美、由藤美世子、山口佐人 〈事務局11名〉 介護保険課長 宮本昭彦 長寿支援課長 片岡圭子 介護保険課 森川伸一 吉岡由里 福田泰之 近藤江美 鈴木将司 長寿支援課 合田秀司 阿部美紀 鈴木早苗 片山昌俊
傍 聴 人 数	なし
議題及び会議の概要	下記のとおり

会議次第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 退任委員の報告及び新任委員の委嘱
4. 協議事項
 - (1) 令和6年度事業報告・決算報告について
 - ① 令和6年度介護保険事業実績
 - ② 令和6年度地域包括支援センター活動報告
 - (2) 令和7年度事業計画・予算について
 - ① 令和7年度介護保険事業実施計画
 - ② 令和7年度四国中央市地域包括支援センター事業計画について
 - (3) 地域密着型サービス事業所の指定、廃止及び指定の更新について
指定2事業所、廃止2事業所、更新4事業所の報告
 - (4) 地域密着型サービスの指定に係る事前協議について 諮問事項
 - (5) 介護予防・日常生活支援総合事業について
 - (6) その他
5. 閉会

議題 1 令和6年度事業報告・決算報告について

事務局より説明

令和6年度において重点的な取組4事業「介護予防の取組」、「認知症になっても希望を持って過ごせる地域づくり」、「自立支援に向けた介護予防のための地域個別ケア会議の実践」、「在宅医療や介護を希望する人が住み慣れた地域で安心して暮らせる体制づくりの推進」について説明。地域ケア個別会議において、多職種の専門家が集い、利用者に寄り添った支援ができるよう検討を行う中で、利用者共通の課題を地域全体の課題として捉え、地域ケア圏域会議において2点の地域課題があることを提言している。

【質疑】

地域ケア個別会議において、提言された2つの地域課題とは何か。

【応答】

地域課題の1つとして、高齢者が活躍できる多様な場の必要性について提言している。退職後に趣味活動や有償ボランティア等の社会資源に繋げることができる環境整備を行う必要がある。2つ目に、ケアマネジャーや地域包括支援センターの職員のシャドーワークが増加している点にある。軽微な金銭管理や通院、入退院時の付き添い等本来ケアマネジャーが業務として行わなくてもよい業務が増加し、負担が増大している。

承認

議題 2 令和7年度事業計画・予算について

事務局より説明

(質問なし)

承認

議題 3 地域密着型サービス事業所の指定、廃止及び指定の更新について

事務局より説明

(質問なし)

承認

議題 4 地域密着型サービスの指定に係る事前協議について 諮問事項

事務局より説明

(質問なし)

承認

議題5 介護予防・日常生活支援総合事業について

長寿支援課より説明

介護予防・日常生活支援総合事業の一環として、介護サービス事業所以外の多様な主体によるサービス活動を創設予定。当該サービスは訪問介護における生活援助の部分のみを行うサービスであり、要支援者、事業対象者、継続利用要介護者（以下「要支援者等」という。）を対象とし、公益社団法人シルバー人材センターが実施を行う。

【質疑1】

介護保険での訪問介護との併用はできるか。また区分支給限度額等に当該サービスは含まれないという認識でよいか。

【応答】

訪問介護や介護予防・日常生活支援総合事業の指定相当訪問型サービス（以下「訪問介護等」という。）との併用はできず、区分支給限度額外でのサービスとして取り扱う。

【質疑2】

先述の地域ケア個別会議にて質疑を行った際の地域課題の1つとして提言されたケアマネジャーのシャドーワーク等を含む要支援者等のちょっとした用事を当該サービスで行うことは可能か。

【応答】

当該サービスは訪問介護等における生活援助を要支援者等に提供する事業であるため、地域ケア個別会議での課題の解決に繋がらないのが現状である。

承認

議題6 その他

事務局より説明

介護保険運営協議会委員の任期が令和7年12月31日であることを踏まえ、次期の介護保険運営協議会委員の選任については、令和7年10月頃に意向確認である。

（質問なし）

承認

閉会